

新型インフルエンザワクチン予防接種のお知らせ

今般流行している「新型インフルエンザ（A 型 H1N1）」の予防接種についてお知らせします。

この予防接種は、これまでのデータから、重症化の防止に効果が期待されます。ただし、感染防止の効果は証明されておらず、接種したからといって感染しないわけではありません。

■対象および接種時期（国が示す標準的スケジュール） 下記以外の方は、優先対象者等の接種状況で対応が検討されます。

優先対象者		接種予定時期	持参するもの（優先対象であることが証明できる書類）
①	インフルエンザ患者の診療に従事する医療従事者・救急隊員は 10 月 19 日から接種開始済み		
②	妊婦等	11 月 2 日～	母子健康手帳
③	基礎疾患を有する者	最優先 11 月 16 日～	「優先対象者証明書」
		その他 12 月上旬	※かかりつけ医で接種の場合は不要
④	1 歳～小学校 3 年生に相当する年齢の小児	12 月中旬	「母子手帳」又は「健康保険被保険者証」
⑤	1 歳未満の小児の保護者	1 月上旬	「母子手帳」、「健康保険被保険者証」又は「住民票」
	優先対象者のうち予防接種が受けられない者の保護者		「優先対象者証明書」、「健康保険被保険者証」又は「住民票」
⑥	小学校高学年、中学・高校生、高齢者	1 月以降	「健康保険被保険者証」、「学生証」、「運転免許所」又は「住民票」

※基礎疾患を有する者の定義に該当するかどうか、及び接種開始日・予約については「かかりつけ医師」に確認してください。

■接種できる市内の医療機関

あさじ医院	☎④④ 0225	さかいこどもクリニック	☎④③ 0415	西村医院	☎④⑨ 0001
安積医院	☎④⑥ 0361	さたけ小児科	☎④③ 1717	西村耳鼻咽喉科	☎④② 6020
荒木医院	☎④③ 9711	佐竹医院	☎④② 4057	北条田仲病院	☎④② 4950
いまだ眼科	☎④③ 3933	市立加西病院	☎④② 2200	堀井内科医院	☎④⑨ 0150
大杉内科医院	☎④⑦ 0023	田尻内科循環器科	☎④③ 7931	みのクリニック	☎④⑨ 8470
小野寺医院	☎④⑧ 3737	つつみ神経内科	☎④⑤ 2050	三宅医院	☎④⑨ 0067
おりた外科胃腸科	☎④② 6000	徳岡内科	☎④② 0178	米田病院	☎④⑧ 3591

※上記は、一般来院者の接種も可能な医療機関です。上記以外に通院患者は接種可能な医療機関もあります。まずは、かかりつけの医療機関に確認ください。また、市外の医療機関でも接種できますので詳細は兵庫県のホームページでご確認下さい。

■料金 1 回目の接種 3,600 円
2 回目の接種 1 回目と同じ医療機関の場合 2,550 円、1 回目と異なる医療機関の場合 3,600 円

■優先対象者のうち生活保護世帯の方・市民税非課税世帯に属する方は、料金が無料になります。（該当する方は申請が必要です）

- ①加西市内及び北播磨管内の指定医療機関（医師会会員の医療機関）で接種をうける方
接種前の申請により「無料接種券」を発行します。申請は、印鑑及び優先対象であることが証明できるもの（上記表参照）が必要です。
- ②申請前に予防接種を受けた方・上記以外の医療機関にて受ける予定の方
接種終了後、申請により接種料金を返却します。印鑑、接種済証明書（医療機関で発行）と領収書・振込先の通帳が必要です。

申 請 開 始 日：妊婦・基礎疾患を有する方 11 月 16 日（月）～3 月 31 日（水）
1 歳～小学校 3 年生に相当する年齢の方 12 月 1 日（火）～3 月 31 日（水）
小学校高学年～高校生・高齢者の方 12 月中（県の接種予定、接種回数の決定により後日決定）

申請場所・時間：市役所 1 階⑨番窓口 国保健康課 平日 9:00 ～ 17:00

■注意事項

今回の予防接種は、接種対象者の自発的な意思に基づき、接種をするかどうかを決めていただくことが前提とされています。ワクチン接種は、多くの方に重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後に接種部位が腫れたり、熱が出る等の症状が見られる他、まれに重篤な症状を引き起こす可能性もあります。この危険を 100 パーセント排除することはできませんので、ご理解のうえ、接種していただくようお願いいたします。

【問合先】 国保健康課☎④8723 今後、この内容に追加・変更があった場合は、市ホームページ・広報等でお知らせします。

加西病院のコーナー

加西病院WEB サイト <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

『安全コスト』

今流行っている新型インフルエンザなど感染症においては、個人個人に「他人に染さない」「他人から染らない」努力が求められます。手洗い、うがい、マスク、咳エチケット、発熱したら人混みに出ない、等々です。一方、医療施設には組織的対応が求められます。

加西病院は以前から感染防止に力を入れており、院内では感染防止委員会や ICT（感染症管理チーム）が活躍し、院外には加西市感染防止ネットワークを広げています。このような取り組みには費用が掛かります。例えば、採血係は患者毎に手袋を交換します。長時間輸液は無菌調剤室で薬剤師が厳格に準備します。そのための材料や人員に費用が要ります。ところが医療の世界では、安全に掛けるお金は上乗せ出来ない決まりになっています。

安全な医療は国民の願いであり、医療者の願いでもあります。一般に物事は安全確実に行おうとする程、人手と時間とコストが掛かります。にもかかわらず、医療安全に力を入れた分だけ損をするのは天に唾する行為であり、いずれ国民に落ちかかってきます。

今全国的に、病院経営の危機が叫ばれています。日本病院協会の今年の調査では公立、私立おりまぜて 76.2 %が赤字と、驚くべき比率に上っています。赤字が増えたのは過去 10 年間、診療報酬を下げ続けてきたためです。医療費の増加は国家財政を破綻させるとの理由からです。

最近経営が成り立たず休止する病院や、救急医療から撤退する病院が増えています。病院は利益を上げることがを目的に動いている組織ではなく、患者さんに良質な医療を届けることを目的に動いている組織です。医療安全に十分なコストを掛けてなお成り立つ経営環境を整えることは国家社会の責任です。今回政権交代が成り、新政権は病院医療が維持できる仕組み作りを公約にしています。実現することを願ってやみません。

（病院長）



写真：加西感染防止ネットワーク講習会
『加西市感染防止ネットワーク』は、加西病院と周辺地域の介護的医療施設の方々が集まって知識とスキルを磨き、施設内の感染管理の質を高めることを目的にしています。MRSA や疥癬、ノロウイルスやインフルエンザなどへの正しい対応によって市民の方々に恩恵がもたらされます。

STOP! 飲酒運転。飲酒運転による事故が多発しています

飲んだら運転しない。運転するなら飲まない。運転する人には飲ませない。

市内で飲酒運転による事故が、本年は 11 月 1 日現在で 10 件発生しており、例年より増加しています。

平成 21 年 6 月 1 日から、飲酒運転に対する行政処分が大幅に強化され、運転者以外にも車両の提供者や同乗者にも厳しい罰則があります。年末にかけ、お酒を飲む機会が増えますが、人の命を奪い、加害者や被害者の生活を一変してしまう悲惨な交通事故をなくすため、交通ルールを守りましょう。



【問合先】 加西警察署交通課☎④0110

■全国防犯協会連合会長表彰（防犯荣誉銀章）

10 月 14 日に兵庫県公館で開かれた平成 21 年地域安全兵庫県民大会において、多年にわたり加西市の防犯活動に大いに貢献されたとして全国防犯協会連合会会長から表彰されました。

加西市防犯協会三口支部 副支部長 芝元孝夫さん（西笠原町・72 歳）

問合先／加西市防犯協会☎④ 6030